

DOSHISHA

Tokyo Journal 同志社東京ジャーナル

2022
Summer
No.128



同志社東京校友会 INDEX

表紙写真：同志社フェア in 香川

- 同志社フェア in 香川
地域交流イベント
卒業生交流レセプション
- 2022年度 定時総会・評議員会・幹事会レポート
2021年度 事業報告・会計報告
2022年度 事業計画
- 青木新代表幹事 就任メッセージ

- 準備も佳境 2022 秋の集い
- 東京校友会奨学金制度 総括レポート
- 片桐家同志社五代記（四十一）
- 連載コラム 今出川・京田辺四季
- 同志社スポーツ・ソフトボール部女子
- 親睦ゴルフコンペのご案内
- 校友会「俳壇」特別版 杉本八郎客員教授

春のトピックス

「withコロナの催事の形」を模索しながらー

同志社フェア in 香川

「緊急事態」やら「自粛要請」やらで中止を余儀なくされていた各種の催事が、「リアルな集い」として復活しつつあります。先頃行われた「同志社フェア in 香川」もその一つ。リアルはいいよね、やっぱり。

開催までの道のり

ここまで長引くとは思わなかった、というのが、いわゆる「コロナ禍」に対する大方の国民の感想ではないでしょうか。

振り返れば、2020年の2月、横浜港に入港したクルーズ船での「集団感染」発生を発端として、未曾有の大混乱がはじまりました。政府は2020年の2月26日、「新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、大人数が参加するイベントについて当面の自粛要請」を発表。これを受けて、同志社関係でいえば、2月下旬に予定されていた同志社校友会大懇親会が中止となりました。そして、それに続いて、3月14日に予定されていた「同志社フェア in 香川」も延期を余儀なくされたのでした。

その後、4月には初めての「緊急事態宣言」が発出されましたが、それから今日までのあれこれ、ご存じの通り。

もともと「同志社フェア」は



奥野史子さんのトークショー。校友同士の夫・朝原宣治さんとのエピソードも

2011年から校祖新島襄ゆかりの地である安中や会津若松、熊本、仙台などで開催されてきたのですが、18年からは各地の校友との絆を深め、地域交流も強化することを目的に浜松、広島、富山で開催されてきました。そして、それに続くものとして2020年3月14日の香川（高松）が予定されていたのです。

苦渋の決断と「やっつ…っ」

ただ、香川の場合は「中止」

ではなく「延期」という形になりました。この時の延期の判断は主催者・同志社大学のリスク管理本部によるものですが、その後、地元の同志社校友会香川県支部と同志社同窓会香川支部の尽力により、同じ2020年の10月4日に改めて開催される旨が発表されたのでした。地元の皆さんの並々ならぬ意欲がうかがわれる展開でした。

しかし、残念ながら、秋になってもコロナ禍は収束に至らず、結果、この10月4日の開催を断念し、最終的に「中止」としました。参加者の健康と安全を最優先に考えての、苦渋の決断であったのでしょうか。

この間、東京校友会も最大の催事である「春の集い」を2020年、21年の2年連続で中止するという経験をしました。例年通りの5月、6月の開催を前提に十分な準備をしながら、9月に延期しての開催も模索するなど、これまで経験したことのないような苦心を重ねましたので、「フェア in 香川」関係者の皆さんの苦渋の決断に至る「思い」も共有できるのではないかと思います。

今回の「卒業生交流レセプション」



「同志社のいま」をアピールする植木学長

「峰彦同志社校友会香川県支部長の「やっつと・・・」という言葉に、万感が込められていたことは言うまでもありません。

久しぶりの、リアルでの大会

2020年、21年と、「第○波」と言われるコロナ禍が続く中、国民も感染対応の経験を積み、ワクチン接種の回数を重ねて、22年の春、世の中もようやくある程度の落ち着きを見せるようになりました。

そうした状況変化を受けて開催されたのが2022年4月29日の「同志社フェア in 香川」だったわけです。

「憲法に保障された移動の自由」などと大げさな言いことも



地域交流イベントで、同志社グリークラブと香川オリーブ少年少女合唱団の競演

会場内に石垣がある施設としても知られています。ここに、4月29日の昼過ぎから、春のこぬか雨について、同志社の校友が続々と詰め掛けました。皆さん、笑顔とともに、久しぶりのリアルでの「大きな集い」にちよつと興奮気味。もちろん、検温、消毒、換気、ソーシャルデistanシングなど、基本的な感染対策は万全に講じられています。

ありませんが、なにしろ久しぶりに「無条件に旅ができる」という解放感に加え、最大10連休というゴールデンウィークの初日ということもあって、空路も陸路も大賑わい。

今回の開催地となった香川県はニューヨークタイムズが「世界の人々が訪れるべき場所」として選び、「世界の宝石」と呼

んだ瀬戸内海に面した観光地。県都・高松は今年の大河ドラマの源平合戦でも描かれた屋島の古戦場に近い四国の玄関口。街の至るところに、あの「さぬきうどん」の看板が見えます。

会場になった「レダザムホール」は高松港に臨む香川県を代表する施設。玉藻城ともいわれる高松城址公園に建っていて、



同志社香里高ダンス部OGによるパフォーマンスも盛り上げに役

第一部の「地域交流イベント」は14時の開会。校友で、地元でおなじみのフリーアナウンサー采野友啓さんの司会で軽快にプログラムが進みます。まず、主催者として植木朝子学長が「このフェアを通じて、同志社のいま」を感じていただければ」とあいさつ。続いて、後援の香川県を代表して浜田恵造知事から「これを機会に、同志社との連携をいっそう深めたい」とのスピーチがありました。

校友会からは松岡敬会長がいさつに立ち、開催に尽力した地元関係者への感謝の言葉を述べた後、大学と校友会と

地元の絆の深化を強調しました。

このあと、植木学長による最新映像を交えた「同志社大学紹介」があり、2025年に創立150周年を迎えるにあたり制定された「ビジョン2025」に触れながら、ダイバーシティなど同志社の新しい教育方針をアピール。

次は、同志社大学大学院修了のバルセロナ五輪銅メダリスト奥野史子さんと司会の采野さんとのやりとりによるトークショーで「私のアスリート人生」スポーツがくれた宝物」が語られ、大きな拍手を受けました。

「茶話会」形式のレセプション

第二部「卒業生交流レセプション」は、直前になって「茶話会」形式に変更となりました。通常は立食パーティ形式で行われることが多い「交流レセプション」ですが、このタイミングでの飲食をとまなうことのリスクを主催者側が懸念し、参加者の安全を求めた選択となったのでしょう。



「茶話会」形式での卒業生交流レセプション。次回開催地・松本へのエールも

この「茶話会」形式が、コロナ禍中の「緊急避難的措置」なのか、ウィズコロナあるいはポストコロナ社会での「新しい形」なのか、議論は分かれるところかもしれません。

ただ、参加者の皆さんの間から聞こえてきた「やっぱり、リアルはいいねえ」という声だけは実感にあふれていたことをお伝えして、このレポートを締めくくりたいと思います。

文責／谷村和典（72年・文）
写真／新田博伸（77年・法）

【2022年度定時総会・評議員会・幹事会】レポート①

2021年度事業報告・会計報告

2021年度事業(活動)報告

(1)群れる機会(5大イベントの推進)で会員増をめざす

①「2021同志社東京初秋の集い」

9月4日(土)にホテルニューオータニで「今こそ同志スピリット!コロナに負けず、集え我ら」をテーマに開催を企画。当番年次1977(S52)年卒が中心となり、コロナウィルス感染拡大防止対策を徹底した「安全・安心」第一での開催を準備しましたが、残念ながら開催中止となりました。

②「第6回親睦ゴルフ大会」

10月7日(木)に太平洋クラブ市原コースで44名が参加し、万全の感染予防措置をとって団体・個人戦を開催しました。コロナ禍で1年延期となっていました。天候にも恵まれ「コンペを楽しんだ」との感想もあり、成功のうちに終了しました。

③「特別協力会員の集い」

コロナ禍により対面での開催を中止し、11月12日(金)に初めてのチャレンジとしてオンラインLIVE配信にて開催しました。昨年同志社大学学長に就任された植木学長に、「同志社大学ビジョン2025」ダイバー

シティ・キャンパスの推進に向けて」をテーマにご講演いただきました。申込人数は42名で、実際の参加は29名でした。

④「現役世代/ビジネスパーソンの会員増計画」

昨年に引き続き、イベントは開催出来ませんでした。

⑤「生誕之地碑前祭文化事業・午餐会」

2月12日(土)に予定の行事は全て中止となりましたが、有志により「生誕之地碑」に献花を行いました。

(2)継続的な取り組みで入会促進を図る

①「通常会員」

「初秋の集い」等行事中止により新規入会が殆どなく、年会費納入は前年比135口減少の1280口となりました。

②「特別協力会員」

年会費納入口数は前年比5口減少の124口となりました。

③「登録団体」

SMD会東京支部(マンドリン部OB会)と同志社ゴルフ部OB・OG会(東京)の新規団体登録がありました。

(3)学校への積極的協力と支援活動

①「大学運営への協力」

150周年に向けて「ALL DOSHISHA」募金活動について大

学・校友会と募金状況の情報を共有しており、ご協力に感謝します。

②「東京校友会奨学金」

大学に推薦いただいた2名(群馬・長野県出身学生)について、6月に奨学生選考委員会が審査を実施し、常任幹事会に結果を報告、全会一致で支給を決定し、7月と3月に分けて奨学金の給付を行いました。奨学金募金は、合計83件1497千円となりました。厚く御礼申し上げます。

③「大学現役諸団体への支援(支援金と広報協力)」

を継続。関東同志社スポーツユニオン総会の開催は中止となり、文化団体を含め、支援金の申請はありませんでした。

④「大学主催行事への協力・積極的に参加」

◆ホームカミングデー…11月14日(日)に対面ではなく、オンラインで開催されました。

◆同志社フェア…

2021年4月29日に長野県松本市で、8月21日に新潟県新潟市で、開催が予定されましたが中止となりました。

◆同志社講座…

大学東京サテライトキャンパスで、秋講座が開催されま



有志による「生誕之地碑」献花(2月12日)

した。◆新島襄終焉之地碑前祭(1月23日…大磯)・生誕之地碑前祭(2月12日…神田)…

2021年度の開催は、中止となりました。

(4)広報活動

①「東京ジャーナルの発行」

年4回…123号より表紙など誌面のデザインを一新し、125号は「2020東京オリンピック・パラリンピック」における



東京ジャーナル
「同志社スポーツ特集号」

5月26日(木)の「2022年度定時会員総会・評議員会・幹事会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催・決議となり、2021年度事業報告・会計報告、2022年度事業計画等の議案が、全て原案通り承認されました。

2021年度 会計報告 (2021/4/1~2022/3/31)

1. 2021年度 収支決算報告

科目	修正予算	累計実績	差異	備考
【基礎収入】	7,820,000	6,820,205	-999,795	達成率 87%
年会費収入 (通常会員)	4,260,000	3,840,000	-420,000	1280口 (-140口)
年会費収入 (特別協力会員)	3,000,000	2,480,000	-520,000	124口 (-26口)
校友会助成金	550,000	500,000	-50,000	地域交流 -15万、コロナ支援 +10万
受取利息	1,000	205	-795	
その他の収入 (雑収入)	9,000	0	-9,000	
【事業収入】	1,001,000	88,000	-913,000	達成率 9%
参加費収入 (初秋の集い)	0	0	0	開催中止
参加費収入 (特別協力会員の集い)	525,000	0	-525,000	開催中止
参加費収入 (事前祭午餐会)	205,000	0	-205,000	開催中止
参加費収入 (その他の集い)	260,000	88,000	-172,000	ゴルフ大会のみ開催
物品等販売 (収入・支出)	11,000	0	-11,000	同志社クッキー: 無
【広告収入】	340,000	330,000	-10,000	達成率 97%
広告料収入 (東京ジャーナル)	300,000	300,000	0	ダイキン工業様 x 2回 公益社様 x 1回
広告料収入 (ホームページ)	40,000	30,000	-10,000	若林佛具店・スタッフアイ・橋の下様
広告料収入 (初秋の集い)	0	0	0	開催中止
収入 (小計) (1)	9,161,000	7,238,205	-1,922,795	達成率 79%
【事務経費】	2,684,000	2,251,555	-432,445	消化率 84%
労務費 (感謝金)	624,000	674,000	50,000	東京オフィス当番増⇄人材派遣費減
業務委託費	220,000	212,540	-7,460	大滝会計事務所 + CR カート業務
会議費	300,000	206,024	-93,976	常会・幹会・評会・総会: 書面開催
交際費 (支部総会税金)	100,000	0	-100,000	支部総会開催中止
通信費	520,000	474,588	-45,412	郵便・ヤマト便・NTT 東日本
交通費	240,000	157,880	-82,120	常任幹事会 ZOOM 併用 + コピー削減
事務用品費	260,000	194,126	-65,874	OKI 複合機メンテ費減、修理等臨時費減
家賃・付帯諸費	50,000	46,200	-3,800	バーチャルオフィス家賃 (エイゼックス)
振込・手数料	360,000	286,197	-73,803	郵便払込・銀行振込・クレジットカード
その他の支出 (雑費)	10,000	0	-10,000	臨時・非重要・少額費用支出
【事業費用】	2,765,000	1,424,081	-1,340,919	消化率 52%
催事費 (初秋の集い)	1,200,000	1,115,649	-84,351	キャンセル料 71 万、案内状・チラシ・経費
催事費 (特別協力会員の集い)	720,000	190,992	-529,008	WEB 講演会開催
催事費 (事前祭午餐会)	225,000	0	-225,000	開催中止
催事費 (事前祭文化事業)	300,000	0	-300,000	開催中止
催事費 (その他の集い)	320,000	117,440	-202,560	ゴルフ大会のみ開催
【広報費用】	1,840,000	1,713,472	-126,528	消化率 93%
東京ジャーナル発行・配布費	1,740,000	1,697,170	-42,830	取材費減少
ホームページ維持・管理費	100,000	16,302	-83,698	サーバー費・メンテナンス費
【政策経費】	622,000	74,457	-547,543	消化率 12%
特別協力会員維持開拓費	80,000	62,457	-17,543	日経テレコンによる新規会員開拓
年次会等諸団体会員開拓費	260,000	0	-260,000	年次会発足支援: 無
同志社大学現役諸団体交流費	170,000	0	-170,000	関東スポーツユニオン: 開催・申請無
現役世代会員開拓費	100,000	0	-100,000	ビジネスパーソンの企画: 開催無
初秋の集い新人参加費	0	0	0	「集い」開催中止
地域交流活性化費	12,000	12,000	0	神田錦町三丁目町会費
【人材派遣費】	1,720,000	1,455,502	-264,498	消化率 85%
【予備費】	50,000	0	-50,000	消化率 0%
【特別支出】	100,000	55,000	-45,000	消化率 55%
支出 (小計) (2)	9,781,000	6,974,067	-2,806,933	消化率 71%
【A】一般収支 (1) - (2)	-620,000	264,138	884,138	対予算収支 -43%
奨学金募金 (収入)	300,000	1,497,000	1,197,000	達成率 499% (100 万円大口募金)
奨学金給付 (支出)	600,000	600,000	0	消化率 100%
【B】奨学金募金勘定収支	(300,000)	897,000	1,197,000	対予算収支 -299%
【総合収支 A+B】	(920,000)	1,161,138	2,081,138	対予算収支 -126%

2. 2021年度 同志社東京校友会奨学金募金勘定

1) 2021年4月~2022年3月収支報告

集計単位	修正予算	累計実績	差異	備考
奨学金募金 (収入)	300,000	1,497,000	1,197,000	達成率 499%
奨学金給付 (支出)	600,000	600,000	0	達成率 100%
合計	-300,000	897,000	1,197,000	達成率 -299% : 100 万円 x 1 件

2) 2021年度 奨学金募金資産勘定

科目	2020年度残高	収入	支出	収支	2021年度 残高 (次年度繰越)
	1,078,325	1,497,000	600,000	897,000	1,975,325

3. 財産目録 (2022年3月31日現在)

(資産)	2019年度	2020年度	2021年度	2021年度 前年度増減
銀行口座	2020年3月31日	2021年3月31日	2022年3月31日	
普通預金: みずほ銀行 (渋谷中央)	94,372	829,005	944,366	718,113
普通預金: みずほ銀行 (銀座)	4,010,449	1,309,443	786,154	591,851
ゆうちょ銀行振込口座	10,000,000	10,000,000	10,000,000	-595,545
手許現金	2,239,182	2,239,202	2,239,222	-31,770
運営資金合計	6,407,809	8,720,695	8,792,082	682,649
定期預金: みずほ銀行 (渋谷中央)	1,497,932	90,247	1,039,734	0
ゆうちょ銀行	2,239,202	2,239,222	12,239,242	20
定期資金合計	24,287,053	23,252,056	23,886,101	20
【奨学金】普通預金: みずほ銀行 (京橋)	90,247	1,039,734	1,518,203	478,469
資産合計	23,252,056	23,886,101	25,047,239	1,161,138
*奨学金募金資産分→	1,565,325	1,078,325	1,975,325	897,000
(負債)	なし		*収支分→	264,138

同志社アスリートの活躍を写真と記事で特集し、これに「初秋の集いガイドブック」に掲載予定の原稿「私の学生時代とスポーツ」を加えて、全20ページに増大した「同志社スポーツ特集号」としました。

② ホームページ、フェイスブックの運用 ③ 「HP」新コンテンツ管理システムの円滑な運用と掲載内容の充実を図り、【FB】「いいね!」獲得数は「2403」

① 校友会渉外活動 ② 10月23日(土)に東京校友会が幹事支部で「関東・甲信ブロック会議」が全面ZOOMで開催され、情報交換と連携強化を図りました。

③ 諸会議の事務局業務 ④ 常任幹事会「全面ZOOM」と「対面(京橋区民館)+ZOOM」を併用して毎月開催を継続、幹事会・評議員会・定時会員総会

【2022年度定時総会・評議員会・幹事会】レポート②

2022年度事業計画

2022年度事業(活動)計画

(1) 群れる機会(5大イベント)

の推進：新規会員の勧誘

①「2022同志社東京秋の集い」

9月18日(日)に、品川プリンスホテルにて開催を予定しています。テーマは「再び集え！ニューノーマル時代と同志社精神」新型コロナウィルスが教えてくれたこと」1978(S53)年卒を中心とした実行委員会を組織して、コロナ感染防止策を徹底した準備を進めています。

②「第7回親睦ゴルフ大会」

(個人・団体戦) 10月4日(火)に開催を予定しています。奮ってご参加下さい。

③「特別協力会員の集い」

(特別講演会) 11月21日(月)に学士会館(神田)で開催予定。講演会と3年振りの懇親会を開催し、親睦と何らかの繋がりが出来ればと考えています。

④「ビジネスパーソン・特別講演会」

(現役世代開拓) 卒業生有名企業トップなどを招聘し、現役世代向けに交流やイベント等を企画・開催します。

⑤「生誕之地碑前祭」

(文化事業・午餐会) 2023年2月12

日(日)の「碑前祭」の後に学士会館で開催を予定、久しぶりの日曜日開催で、地域交流を含め、多くの参加者が集う「文化事業」を検討中。「午餐会」は同窓会東京支部との共催で、65名の参加を想定しています。

(2) 会員・登録団体：継続的な取り組みで入会促進を図る

① 通常会員(群れる機会) 会員数1500名を目標に、新規会員獲得を目指し、年次会・サークル・学部／業界OB・OG会等に働きかけ、「秋の集い」に参加勧誘と連動して、SNSを使った会員獲得にチャレンジします。

② 特別協力会員

例年通り、新しく各団体の重要ポストに就かれた方に対し、8月に日経テレコンで検索し、新規会員勧誘の案内状を200通前後送付予定です。

③ 女性会員

「秋の集い」や年次会等登録団体の女性会員の発掘と役員への登用を図ります。

④ クラブOB／OG会・学部／企業／業界／サークル・年次会

(新規発足) 会員合計25名以上が所属する登録団体に、代表者の文書申請に基づいて、金1万円を総会時「祝金」として

会長名で支出しています。ぜひ、団体登録と構成員名簿(氏名／卒年／学部のみ)の提出をお願いします。

⑤ 活動活性化の運営改革プロジェクト

会員拡大(特に現役世代・年次会の充実等)を目的に、過去の延長線上ではない「会員を増やす仕組み作り」を、8月を目標にまとめます。

(3) 大学への協力：学校への積極的協力と支援活動

①「ALLO DOSHISHA 2025」

募金法(人・会員) 登録団体への働きかけを強化し、法人への募金依頼活動の再開を図ります。

②「第二回東京校友会奨学金」

(募金・給付) 過去5年間に引き続き、学業優秀で経済的理由により就学支援が必要な、成績基準と家計基準を満たす関東甲信圏(9都県)出身学生4名程

度(大学に2～3年次生の推薦を依頼し、東京校友会で審査・決定)に給付型奨学金年額30万円／人を支給します。

★奨学金の原資は奨学金募金です。個人・登録団体へ募金のお願いを行いますので、趣旨をご



新任役員 左から寺石常任幹事、青木代表幹事、高塚副会長、藤井副会長、福山常任幹事



アーモスト館
イラスト：山口潔子
(同志社大学職員)



新任役員 瀬尾副会長

理解の上、引き続きのご協力を
よろしく願っています。

③ **大学現役諸団体支援**(スポーツ・文化) 〓 スポーツ団体は、全国大会出場で上京(関東圏)した体育会運動部に、関東同志社スポーツユニオンの申請により、秋の総会開催時に支援金を一括贈呈いたします。文化団体は、東京でのコンサート等の催し物開催の際に、PR等でチケットの販売を支援します。また、文化団体から支援金申請を受け、常任幹事会で支出を個別に判断して支給してまいります。

(4) **広報・広告活動**

① **東京ジャーナル**(会員誌・年4回) 〓 若い世代の編集委員の募集・獲得を継続、新編集委員を早期に戦力化し、ウィズコロナ、アフターコロナ時代に対応した誌面構成を行います。

② **ホームページ、フェイスブック** 〓 【HP】新システムの円滑な運用とコストダウンを図り、【FB】「いいね!」獲得目

標を2450人(3/31現在・2403人)としています。

③ **広告獲得活動**(会員誌・HP) 〓 東京ジャーナル2社&ホームページ2社の広告主新規獲得活動を継続します。

(5) **対外交渉活動**

① **立教大学経済人クラブ** 〓 講演会等での相互交流を継続し、親睦の輪を拡げ、運営・企画に活かします。

② **錦町三丁目町会** 〓 「新島襄生誕之地碑」(学士会館)が所在する千代田区神田錦町三丁目町会を通じて地域交流を図っています。

(6) **事務局活動**

① **校友会本部・関東甲信ブロック** 〓 校友会本部事務局とは、本部主催行事への参加、校友会東京オフィスの運営、支援金・助成金等申請、会員拡大支援等で連携した活動を行います。関東甲信ブロックでは、支部長会議の幹事支部機能を担いつつ、支部総会開催時には出席(総会祝金)し、「秋の集い」への参加・協力要請を行います。

② **諸会議・行事事務局**(出欠・名簿・会費) 〓 2022年度の諸会議日程 〓 常任幹事会…原則第3木曜日毎月開催。幹事会…

評議員会・総会…①5/26(幹事会/評議員会/定時会員総会 〓 書面開催)、②7/14(幹事会「秋の集い」が主題)、③11/24(幹事会/評議員会…中間報告)、④2023/3/23(幹事会…次年度事業/予算計画)。

◆ **評議員選出事務局の設置** 〓 現在の評議員各位(約200名)は、2023年3月31日で任期満了となります。10月になりましたら、各登録団体の代表者に「**評議員推薦のお願い**」(任期…2023年4月1日〜2026年3月31日)を発信いたしますので、11月末までの推薦にご協力下さい。

③ **会員管理システム**(会員・請求・入金) 〓 会員基本情報と請求・入金管理を司る「**会員管理システム**」(2019年末稼働)の「操作手順書」の整備・活用を図り、必要な手直しと要件追加・変更等を継続し、更なる活用を目指します。

★ 会員の個人情報、2021年7月20日に全面改定した「**東京校友会個人情報保護に関する基本方針と規程**」に則り、今後共、個人情報保護の適正な管理と保護に努めてまいります。

④ **会計/経理/財務全般**(請求



新任役員 仁藤常任幹事

書・助成金) 〓 日々の収入・支出を含む定例月次業務の他、通常常会/特別協力会員の「年会費納入のお願い」の発送・納入管理・督促(会員管理システムで運用)、広告代の請求・管理、募金の管理等、また、大滝会計事務所による月次決算の委託管理業務、会計監事による期末会計監査等、幅広い業務を2名体制で行います。

⑤ **校友会東京オフィス**(情報・書類・備品) 〓 当番担当の常任幹事1名(5名交代制)と派遣事務員1名(固定)の2名体制で、原則月・水・金曜日10:00〜16:00に開室(17:00までは閉室)、当番担当は各自の役割を果たす他、会員管理、各種到達情報の処理、関係者との日常連絡、諸問題の対応、備品・各種書類の保管管理等を行い、派遣事務員は会員管理システムの運用の他、事務処理等を行います。

文責/阪口章夫(73年・商)

△代表幹事が二人制となりました

新代表幹事に選任された 青木重之さんのメッセー

ポストコロナ時代の校友会活動とは？世の中が大きく変化し、生き方や働き方が変わらざるを得ない状況下での新たな校友会活動の在り方を模索します。

本年度の東京校友会は、コロナ後を見据えて、常任幹事の増強や新たなプロジェクトチームの立ち上げなど新機軸を打ち出しております。

その中、代表幹事二名体制で、事務局体制の強化と新たな企画やイベントなどの立案実施を強化することになり、阪口代表幹事とともに、新たに代表幹事を拝命いたしました青木重之（78年・経）です。よろしく願います。

未曾有のコロナ禍は、校友会活動にも大きな影響を与え、この約2年間、すべての行事を中止せざるを得ず、時間が止まってしまったかのような歯がゆい状態が続いています。この間、それと連動

するかのようには会員減少も進み、将来の校友会の存在にも大きな影を落としています。

ようやく、ワクチン接種も進み、感染者数が減少してきましたので、9月18日の「秋の集い」から反転して、攻めの姿勢で新たな東京校友会を作っていく覚悟です。

その一環として、「運営改革プロジェクト」を立ち上げ、前号で若手会員の皆さんによる座談会の模様を掲載いたしました。他にも現役世代の皆さんのヒアリングなども実施し、貴重なご意見をたくさんいただきました。

目指すは、この伝統ある東京校友会を「老壮青」皆が集える校友会にしていこうことです。頑張りますので、ご支援よろしく願います。



青木重之代表幹事

準備も佳境 2022秋の集い

会員の皆様、もう参加申し込みはお済みでしょうか？

開催日まで2か月を切り、実行委員会内の準備作業が佳境に差し掛かっているところです。

この度の会場は、初めての品川プリンスホテル「プリンスホール」。これまでになく広い会場で中華のコース料理をお召し上がりいただく予定です。

立食なら2000人に対応で



真山仁さん



瀬尾傑さん

きる会場にゆったり450名ですから、ソーシャルディスタンスは万全、さらに当日は、この会場内の一面を活用して、「業種別大名刺交換会」も企画しています。ぜひ、たくさんさんの名刺を持ってご参加ください。

初めての試みである「リモート版秋の集い」の準備も着々と進んでいます。特に、当日ライブでお送りするメイン企画、植木学長の講演と真山仁さん・瀬尾傑さんの論客対談の他に、同志社大学公認団体（サークル）である「学生テレビ局」の皆さんに制作をお願いした動画「今出川・京田辺の今」の撮影もピークを迎えています、箱田有紀局長（3回生）以下メンバーの皆さんも頑張ってます。

過去2年、コロナの影響で中止を余儀なくされた東京校友会「〇〇の集い」の伝統を途絶えさせることなく、復活させるよう実行委員会一同頑張っています。たくさんさんの皆様のご参加を待ちしております。

文責／青木重之（78年・経）

同志社東京校友会 2022 同志社東京 秋の集い

2022年9月18日(日) **再び集え!!**

ニューノーマル時代と同志社精神

～新型コロナウイルスが教えてくれたこと～

伊藤 弘子氏 同志社大学長 植木朝子氏

「同志社大学ビジョン2025 -ダイバーシティ・キャンパスの推進に向けて-」

第34代長崎大学学長、前同志社大学学長、同志社大学が目指す多様な人々を育む持続可能な大学創造についてお話します。

伊藤 弘子氏 同志社大学学長 植木朝子氏

「予備困難時代の生き方、働き方(仮)」

経済の急激な変化、デジタル化、グローバル化など、予備困難時代を生き抜くために、同志社人が持つべき資質とスキルを、メディアを通じて発信し、社会に貢献していきます。

伊藤 弘子氏 同志社大学学長 植木朝子氏

9月18日(日)13時開催!! 詳細は裏面をご覧ください。

同志社東京校友会 2022 同志社東京 秋の集い

名刺交換会 新たな出会いと交流の場を創ります。

世代を超えて出会い、交流、共創する貴重なひととき

年齢を超えて、ビジネスを越えて、異世代・異業種・異文化の交流を促します。

リモート版「秋の集い」 全世界の同志社人参加します。

全国名刺、世界名刺、どこからでも参加できる

会場版「秋の集い」の魅力を、リモートでも同時に体験できます。

日程 2022年9月18日(日) 12:00受付開始 13:00開場

【スケジュール】

12:00 受付開始

13:00 開会式・名刺交換会(カレッジ別)

13:15 講演 植木朝子氏

13:45 特別講演 伊藤弘子氏

14:15 講演 瀬尾傑氏

14:30 食事開始

15:10 名刺交換会

15:50 閉会式

安全・安心第一

①会場・会場外に感染防止対策 ②会場内・会場外に消毒液を設置 ③会場内・会場外に検温機を設置 ④会場内・会場外にマスク着用を促す ⑤会場内・会場外に消毒液を設置 ⑥会場内・会場外に検温機を設置 ⑦会場内・会場外にマスク着用を促す ⑧会場内・会場外に消毒液を設置 ⑨会場内・会場外に検温機を設置 ⑩会場内・会場外にマスク着用を促す ⑪会場内・会場外に消毒液を設置 ⑫会場内・会場外に検温機を設置 ⑬会場内・会場外にマスク着用を促す ⑭会場内・会場外に消毒液を設置 ⑮会場内・会場外に検温機を設置 ⑯会場内・会場外にマスク着用を促す ⑰会場内・会場外に消毒液を設置 ⑱会場内・会場外に検温機を設置 ⑲会場内・会場外にマスク着用を促す ⑳会場内・会場外に消毒液を設置 ㉑会場内・会場外に検温機を設置 ㉒会場内・会場外にマスク着用を促す ㉓会場内・会場外に消毒液を設置 ㉔会場内・会場外に検温機を設置 ㉕会場内・会場外にマスク着用を促す ㉖会場内・会場外に消毒液を設置 ㉗会場内・会場外に検温機を設置 ㉘会場内・会場外にマスク着用を促す ㉙会場内・会場外に消毒液を設置 ㉚会場内・会場外に検温機を設置 ㉛会場内・会場外にマスク着用を促す ㉜会場内・会場外に消毒液を設置 ㉝会場内・会場外に検温機を設置 ㉞会場内・会場外にマスク着用を促す ㉟会場内・会場外に消毒液を設置 ㊱会場内・会場外に検温機を設置 ㊲会場内・会場外にマスク着用を促す ㊳会場内・会場外に消毒液を設置 ㊴会場内・会場外に検温機を設置 ㊵会場内・会場外にマスク着用を促す ㊶会場内・会場外に消毒液を設置 ㊷会場内・会場外に検温機を設置 ㊸会場内・会場外にマスク着用を促す ㊹会場内・会場外に消毒液を設置 ㊺会場内・会場外に検温機を設置

会場 品川プリンスホテル アネックスタワー5F プリンスホール

【アクセス】

会場前 - JR 有明線 品川駅(有明線) 徒歩約2分 会場前 品川駅(有明線) 徒歩約2分 会場前 品川駅(有明線) 徒歩約2分

会場前 - JR 有明線 品川駅(有明線) 徒歩約2分 会場前 品川駅(有明線) 徒歩約2分 会場前 品川駅(有明線) 徒歩約2分

2022 同志社東京 秋の集い実行委員会

東京校友会120周年記念事業

「東京校友会奨学金制度」総括レポート

1. 奨学金募金（募金と給付の実績は別表をご参照ください）

2016年から2021年度までの6年間に、個人・登録団体・「春の集い」・同志社クッキー販売等から合計467万円の募金が寄せられました。誠にありがとうございました。また、「春の集い」が開催中止となったこの2年間は、2020年度に27件、2021年度は83件と、本当に多くの皆様に奨学金制度を支えていただきました。特に、2021年度には辻本博圭様（65年・法）より100万円を「奨学金募金の輪が広がるキッカケになれば」との思いから募金しましたと大口の募金をいただきました。心より御礼を申し上げます。

2. 奨学生の声

5年間で延19名に合計570万円の奨学金を支給することが出来ました。奨学生からは、関東甲信圏出身者向けに給付型であることから、大変有り難く助けられましたとの感謝の声が多く寄せられました。

。今回「生活状況報告書」の中から、使途を中心に、奨学生の声を編集してお知らせします。

・2017年度3名

①学費や生活費に充て、アルバイト時間を短縮し、勉強や実験参加の時間を増やすことが出来た。②学会や研究会・セミナーに出席する費用や高価な専門書籍の購入に活用し、学業の充実を図ることが出来た。③フランスへの短期留学費用の半分を賄い、母や姉の負担を減らすことが出来た。

・2018年度4名

①フィナンズへ交換留学中の生活費支出が多い中、欧州を幅広く経験することが出来た。②教育実習先への交通費や部活動の遠征費等に活用し、有意義な学生生活に出来た。③大学図書館にない海外の専門性の高い文献・書物の購入費や学会等の交通・宿泊費に活用し、自分の可能性を広げることが出来た。④生活に金銭的余裕のない中、部活動を継続することが出来、好きな旅行などに踏み出す余裕が出来た。

・2019年度6名

①仕送りのため休みなく働く母親が、少し休みを安心して取ることが出来た。②学費への充当のため、専門的な教科書を購入することが出来た。③アルバイトの日数を減らし、学校の活動に時間を充てることが出来た。④生活費を賄い、旅行や食事などの際にお金に躊躇せず安心出来た。⑤生活費の大きな助けになり、ドイツ語・英語・漢字検定試験を受けることが出来た。⑥全額を学費に充て、今年は少し余裕が生まれ、学業に必要な高性能パソコンを躊躇なく購入することが出来た。

・2020年度4名

①書籍の購入費、コロナ禍自宅待機時の図書費、生活費に有効活用出来た。②学費を援助している両親が介護に時間を取られ収入が減少した分の補填として学費に活用出来た。③コロナ禍でアルバイトが難しい状況下でも掛け持ちせずに勉学に励むことが出来た。④学費や英語・日商簿記検

奨学金募金の実績推移

2022年5月21日

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	6年間合計
募金(円)	672,188	389,304	567,884	835,949	713,000	1,497,000	4,675,325
同志社クッキー(個)	945	1,365	435	2,165	0	0	4,910
内:大学生協(個)	375	960	-	1,715	0	0	3,050
個人/団体等(件)	2/7	0/5	3/5	0/17	27/1	83/0	115/32
一般会計(円)	600,000	2,400,000	-	-	-	-	3,000,000
奨学金給付(円)	-	900,000	1,200,000	1,800,000	1,200,000	600,000	5,700,000
人数(名)	-	3	4	6	4	2	19
出身都県	-	群馬2・ 神奈川	群馬・山梨 ・神奈川・ 東京	山梨・東京4 ・茨城	東京4	群馬・長野	群馬4・神奈川2 ・山梨2・東京9 ・茨城・長野
繰越金(円)	1,272,188	3,161,492	2,529,376	1,565,325	1,078,325	1,975,325	2022年度へ

定の参考書代を賄い、ゆとりを持って勉強し、満足のいくスコアで合格することが出来た。

・2021年度2名

①イギリス留学が出来、勉強集中と新たな経験が出来た。②新しいノートパソコンを買うことができ、動画

の編集作業や調べ物・レポート作成が格段にし易くなった。

◆2022年度から新たに開始の5年間、「第二回東京校友会奨学金制度」にもご協力の程、よろしく願います。

文責/阪口章夫(73年・商)

連載
連企

片桐家同志社五代記

その四十一

文／片桐陽（67年・工）

この連載を書き始めて、何と前回で丸10年が過ぎた。一家族の家系の歴史を書かせていただいているが、同志社に関していいたでいることと本当に申し訳ない気がしてくる。

毎回できるだけ同志社に関わる事柄を綴ろうと努力をしているつもりだが、大事な誌面を使わせていただけて良いものだろうかと思えるを得ない。

また新田編集長にこれで良いのかと問い合わせるのだが、もっと続けろとの返答をいただき、お言葉に甘えている。もう暫くお付き合いいただきたい。

さて、今回はちょっと休憩の意味も含めて、私の生涯の趣味となった車やバイク（自転車からオートバイ）について話をしたい。

私は同志社幼稚園に通っているころから車に興味を持っていた。終戦後間がない頃とあって、京都市内でも殆ど車が走っていない中、進駐軍のジープが家の前を通る。その車をよく絵に描いていたことを思い出す。

同志社中学に入学すると、自宅のあった下鴨前萩町から烏丸今出川まで自転車通った。

京都市内は皆様よくご存知のことかと思うが、平坦に見えていて、我が家の前の通り（現在の北山通）と九条にある東寺の五重塔のてっぺんが同じと言われているが、自転車で高低差がある。考えてみれば鴨川や高野川が北から南へ流れているのだから当たり前なのだが！

そういう訳で、家から中学校までは下り道を走るので、結構スピードも出せる。烏丸通を飛ばして走っていてよく警官に止められ、「もっとゆっくり走れ」と叱られたものだ。

高校に進むと16歳で原付免許が取れたので、何人かはモベツ



高校時代 友人の池本康博君(左)と

トに乗って通学していた。私は経済的理由が一番だったが、父親から危険だから駄目と言われて、自転車通学を続けた。公共交通機関で通うとなると、前萩町から市バスで出町柳まで出て、そこから叡電で三宅八幡まで行き、さらに同志社高校まで歩くことになり一時間は掛かった。それが、自転車だと宝ヶ池の手前の狐坂を越えて20分から30分で行けるので便利だった。これが自転車通学の大きな理由だ。

さて大学に入り、18歳になる。当時の若者は必ずと言っていいほど、その年齢になると四輪の免許を取得したものだ。

今だから話せるが、実は高校時代から友達の家を無免許で運転していたこともあって車を動かすことは全く問題無かった。自宅から数分の教習所、宝ヶ池自動車学校に入っても毎日試験コースを走っていた。

無事に免許証が手に入ると、何とか自分の車を持ちたいものだが、我が家はモベツでさえも買えない時代、車は高価の商品。その頃町内で車を持っている家は、ワンブロックでヒルマンやルノーなどが二、三台ほどだった。続きは次回にしたい。

今出川・京田辺四季



株式会社繁代表取締役
大岩政博（99年・法）

学生生活の中心にあった聖歌隊

初めての一人暮らしをすべく、やってきた田辺は想像していた京都とは全く違い、拍子抜けしたところから同志社人としての生活が始まりました。

新生活として、右も左もわからない中、さまざまなサークルの勧誘を聞いておりました。

ある日、正門からの帰り道、同志社学生聖歌隊（以下、聖歌隊）の方に声を掛けられました。

歌を歌うことに苦手意識を持つっており、話を聞くくらいなら、と思つて席に着いたのが運命の分岐点だったようで、そのまま、新歓の花見に参加し、流されるように入隊しておりました。

聖歌隊では、叱咤激励を受けつつ、毎週火曜と水曜のチャペルアワーでの讃美、お昼休みの練習、夏の合宿、同志社礼拝堂での秋の定期コンサート、栄光館での同志社クリスマスキャンドルライトサービスなどを軸に活動を続けておりました。

今出川での火曜のチャペルアワー後から夜通し友達の家で遊び、寝ぼけ眼で田辺の水曜のチャペルアワーに出ていたのが良い？思い出です。



1995年秋の定期コンサート

讃美する際に着用するガウンを新調するという貴重な機会に恵まれ、いろいろ見比べていたことも懐かしい思い出です。それから20年以上経った今でも、後輩たちがまだその時選んだガウンを着てくれているのは嬉しく感じます（写真で着用しているものは先代のガウンです）。

1997年の同志社クリスマスキャンドルライトサービスでは、実行委員長として、全同志社の中学から大学の聖歌隊の皆さんとともに、クリスマスを迎えられる喜びを強く感じました。活動期と休止期のあった聖歌隊ですが、バトンを繋いでいただけることを期待しています。



本塁打を放ち笑顔の弓納持(商4)

同志社スポーツアトム編集部／発

同志社スポーツ

ソフトボール部女子 2年連続でインカレ出場

学生主体のクラウドファンディングで資金援助と声援を受け、創部史上初となる2年連続でのインカレ出場権を獲得した。

全国の切符

日本一を目指して走り続ける同志社ソフトボール部女子。4月16日開幕の春季リーグ戦に参戦し、関西の強敵としてのぎを削る戦いを繰り上げた。好調な滑り出しとは裏腹に、新チーム初の公式戦ということもあり、多くの苦戦を強いられる。最終戦は2勝5敗で1部6位。自動的に全国大会出場が決定する4位以内に入ることができず、インカレ決定戦への出場を余儀なくされた。



力投する和田(スポ3)

絶対に負けられない一戦。対戦相手は2部1位の立命大だ。強い日差しの下、両者が熱い声援を飛び交わせ、会場の熱気は最高潮に達していた。

2回表の攻撃が一気に流れを引き寄せた。先頭の山口(スポ4)が右三塁打を放ち出塁すると、続いて打席に立ったのは弓納持(商4)。完璧な角度で初球を捉えると、打球は高い放物線を描く。そのまま右側スタンドに吸い込まれ、一挙2点を先制した。エースの和田(スポ3)も見事な投球を見せ、相手打線を封じ込める。攻守がかみ合い、5-0で完封勝利を収めた。

昨年に引き続き、2年連続でインカレ出場権を獲得。創部史上初の快挙だ。「本当に良かった、その一言です」と、主将の山口は笑顔で浮かべる。険しい道のりを乗り越え、悲願を達成した彼女たちの表情は晴れやかだった。

学生主体で

2021年12月、クラウドファンディングが実施された。部員たちは忙しい練習の合間を縫ってアルバイトに励み、部費や生活費を補ったのだ。

いる。しかし、少ない部員数のためのおおの負担費用が大きい上、部費だけで全てを賄うには限界があった。

日本一になるためには、強豪校との遠征練習や設備の強化は必要不可欠。「私たちにできることは全て挑戦したい」。その思いから始まった完全学生主体のこの試みは、多くの反響を呼んだ。

目標は200万円。SNSで熱心に広報活動を行い、この取り組みやチームの魅力について発信した。すると、京都新聞から記事掲載の声がかり、これがさらなる応援の渦を巻き起こす。

結果、わずか1カ月で267人の支援者から222万円を集めることに成功。チーム関係者や卒業生のみならず、一般層からも多数の支援を受けた。たゆまぬ努力が沢山の人の心に届いたのだ。



試合後、笑顔を見せる選手たち

いざ頂点へ

学生主体のチーム運営、全てのことに全力で取り組む姿、あふれんばかりの笑顔。同志社ソフトボール部女子は、見る者全てを惹きつけるチームだ。クラウドファンディングによる資金援助と声援を受け、チームはより一層大きくなった。満を持して、いざ全国の頂へ。彼女たちの夢への挑戦はここから始まる。

城山歩美(商学部2年)

第7回親睦ゴルフコンペ開催

10月4日（火）に東京校友会恒例の親睦ゴルフコンペが開催されます。会場は千葉県の大洋クラブ市原コースです。

年次や学部やクラブの仲間が自由な組合わせでチーム戦と個人戦でゴルフのネットスコアを競います。隠しホールを設けての新ペリア方式ですから単純にグロススコアが良ければ上位という訳でもないところが楽しいところですね。コロナ禍は下火になっていってほしいけれど昨年の大会と同様万全の対応で臨



太平洋クラブ市原コース9番ホール

みます。18ホールをプレーしませんが成績対象は前半の9ホールとなります。東京校友会のホームページからお申込み下さい。文責／近藤義彦（69年・経）

校友会「俳壇」

特別版

選・谷村綱夢（72年・文）

校友会「俳壇」

杉本薬王子（同志社大学生命医科学研究科客員教授）

〈評〉この俳句は薬学会の世界的レジェンド、杉本八郎教授ならではの俳句界でも結社「風土」の同人会会長という俳人、というわけで今回は特別版。俳壇祭は巡行だけではない。あのコンチキチンの俳壇雛子の稽古から祭は始まっているのだ。東京人の教授は、この祭との出会いの驚きと感動を上五の「は」に込めた。名句は助詞一つで生まれる。

＊随時募集：一回2句まで。無料。掲載句には表記の整理・添削などを行う場合があります。投句は、はがきは〒104-0061 中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F同志社東京J俳句係へ、FAXの場合は03-5579-9729同志社東京J俳句係へ。

たにむら・たいむ 俳人協会／現代俳句協会 会員 俳句結社「炎環」 同人会会長 情報紙「定年時代」俳壇選者など。

大募集！〈校友・私の一句〉

編集後記

2年以上猛威を振るったコロナ禍もようやく収束に向かいつつあるようですが、皆様には、コロナに負けず、お元気でお過ごしでしょうか？

4月29日（祝）には高松市で、コロナ禍のため2年延期されていた「同志社フェアin香川」が開催されましたので、今号では表紙と巻頭記事にいたしました。まだまだ樂觀はできませんが、コロナ禍がこのまま収束に向かえば、「同志社東京秋の集い」もなんとか開催することができそうです。

9月18日（日）に開催される「秋の集い」は、5月の定時総会で新代表幹事に選任された青木実行委員長の下、1978年卒の実行委員が中心となり、着々と準備が進められています。3年ぶりの開催となりますが、どうぞご期待ください。

5月の総会では新しい役員が選任されて、組織体制が強化されました。東京ジャーナル編集委員会でも即戦力となる編集委員（記者、フォトグラファー、

デザイナー、校閲者など）を募集しています。経験者はもちろん、未経験者も歓迎します。

本誌の企画・取材・編集・校正などに興味がある方は、ぜひ、東京校友会事務局にご連絡ください。お待ちしております。

尚、「秋の集い」が9月開催になりますので、東京ジャーナル秋号は、通常より1カ月遅れの11月下旬発行になりますので、ご了承ください。

「秋の集い」で、お久しぶりに皆様にお目にかかれるのを楽しみにしております。コロナや熱中症に十分気を付けて、それまでどうぞお元気でお過ごしください。

文責／新田博伸（77年・法）

DOSHISHA TOKYO JOURNAL

2022.July. NO.128 同志社東京校友会

〒104-0061 東京都中央区銀座1-15-7 MAC銀座ビル3F

電話：03-5579-9728

FAX：03-5579-9729

発行人／横山 徹

編集人／新田博伸

印刷／株式会社スバルグラフィック

<https://www.doshisha-tokyo-alumni.jp>

mail:office@doshisha-tokyo-alumni.jp

HP 会員ページ
ログイン情報

ID=doshisha
PASS=1875



人は寝ているあいだも、
空気を吸っている。

だから私たちは、人の心と体に
心地よい空気とは何かを考え続けています。
人と空気のあいだに、いつもダイキン。

ダイキン工業株式会社